

【国語】

言葉の知識に関するもの、説明文、物語文の三題を出題して、入学後の国語の学習に必要な学力が備わっているかどうかを確認します。言葉の知識の問題は、小学校で学習する漢字の読み書きや日本語独特の表現といった言葉の理解を問うものです。説明文、物語文は、ともに本文が長文の傾向にあります。選択式、記述式の設問によって、文章を正確に理解する力や、登場人物の心情を読み取る力などを試します。全体として、日々の読書の質と量を問うことを出題の方針としています。

【算数】

①は小問 8～10 問で、答だけの採点になります。内容は計算問題、比、図形など全範囲になります。配点は 70 点くらいです。

②・③・④は文章題で、比、図形など全範囲から出題されます。途中の式と計算も必要です。配点は一題 15～18 点くらいです。

ふだんから文章題を解くときには、ただ答を出す(見つける)だけでなく、式を立てて、そのすじ道がはっきり理解できるよう練習しておいてください。また、答案は答を出すために書くのではなく、採点者に自分の考えを伝えるために書くのだという認識をもってください。採点者に伝わらなければ、減点されることもあります。

【理科】

【出題範囲】 4年生～6年生用の教科書の範囲を中心としているが、無理のない程度で範囲以外のものが入ることもある。

【出題方針】 教科書の内容をただ覚えるだけでなく、教科書に取り上げられている実験や観察を重視してほしい。また、ふだんからさまざまな物質の性質や、日常生活の中に見られる理科的現象、さらに身近な動物や草花などについても理解を深めておいてほしい。その際、いろいろな疑問がわいてくるはずであるから、それらを解決しようとする気持ちをもってもらいたい。

5年生・6年生用の教科書を中心に出題します。

歴史的分野については、各時代の特色に留意しながら政治や社会、文化などの動きを幅広く学習してほしい。

地理的分野については、日本や世界の各地域の地形や気候が人々の生活とどう結びついているかを考えながら学習しておいてほしい。また、人々の生活により起こっているさまざまな問題(環境問題など)にも目をむけておいてほしい。

公民的分野については、政治や日本国憲法・国際社会理解などについて基本的なことがらを中心に学習しておいてほしい。

なお、答は漢字指定のところは正しい漢字で、それ以外でも教科書に漢字で出てくるものは漢字で答えられるようにしておくこと。